



こぐまの たより

2024年11月1日
社会福祉法人多摩福祉会
こぐま保育園
東京都多摩市永山3-5
042-375-4677

気持ちのいい秋空の下、戸外遊びやお散歩に出かけられるようになり、子どもたちも自然を感じながら日々の活動を楽しんでいます。先日は、こぐま保育園の玄関前に生えている「柿」が実ったため、自然に感謝しながらおいしく頂きました。

夏の枇杷、秋の柿と自然の恵みを感じながら過ごせるのも、こぐま保育園ならではのだな〜と改めて感じました。

芋ほり遠足に行ってきました！

先日実施した芋ほり遠足に、たくさんのどんどん保護者と一緒に行ってきました！こぐま保育園では、行事や日常保育に保護者が参加することを『保育参加』として、子どもたちと共に過ごし、保育や保育者体験を共にしていただく中で、自分の子どもの様子だけでなく、子ども同士の関係性や保育の流れなど、総合的に感じて楽しめる機会として、大切にしてきました。

日頃の様子についても、全学年、保育参加をお受付していますので、是非職員へお声掛けください。

- ・子どもたちの活動予定が許す日は、いつでもお受けしています。
- ・1日にお受けする家庭は1家庭程度を目安にしています。
- ・保育参加のご希望はおうち職員までお声掛けください。

〜おおきなおいもに おおきな拍手〜



そんな、芋ほり遠足での出来事です。黒川の畑に向かう道中のこと。「おいも大きくなってるかな〜」と楽しみにする声が聞こえる中、並木道に差し掛かると「もしやここが山姥の森?!」と耳にしていた噂話を確認するぐんぐんさん。「ちがうちがう、ここじゃない」「もっと山の方だよ」と、行ったことのあるどんどんさんが答えてくれました。しかし、また少し歩くときよろきよろと景色を見渡して「ここ?!」と聞いてみては「ちがうちがう」とやり取りの繰り返し。ぐんぐんさんにとっては、**楽しみとちょっと怖いの狭間のドキドキの姿**なのだと思います。そんなこんなで歩いていると、とうとう尾根幹の横断歩道を渡り“よこやまの道”の山の中へ。すると…聞かずとも「このことか…」と感ずるのか、もう聞く姿はありませんでした。行き帰りの道一つとっても、異年齢の伝承がしっかりとされていて面白いです。

そんなよこやまの道は、とても気持ちの良い風が吹き、キノコや虫もたくさん。大きな蜘蛛の巣を見つけると「あー！あたまきをつけて〜！」と、冒険気分。木の葉の日陰は心地よさと、ちょっぴり不気味な雰囲気も合わせてくれます。

無事に市川さんの畑に到着！市川さんが「試しにお芋を掘ってみたら大きなお芋が育っていたよ。」とお話ししてくれると「お〜!!」と子どもも大人も喜びのおおきな拍手！楽しみな気持ちのまま膨らんで芋ほりを楽しみました。

ぐんぐんさんは「いきたくないなあ（どんなのかよくわからないしなあ）」と思っていた子ども、自分の手で掘り起こした大きなお芋を見て、目をまんまるに輝かせ“次は自分たちが苗を植える番”を楽しみにしている姿があり、見る、体験する、そんな中からの学びと見通しがこんなところでも光っていました。

<11月の予定>

- 1日(金) 収穫祭り 
- 5日(火) 卒園遠足(どん)
おべんとう日(すく・なぜ・ぐん)
- 6日(水) わらべうた(うみ・もり・やま)
- 7日(木) 身体測定(やま・そら)
- 8日(金) 卒園遠足予備日
身体測定(にじ・もり)
- 12日(火) 身体測定(かぜ・うみ)
- 19日(火) 視力検査(うみ・かぜ・もり)
- 20日(水) 視力検査(そら・やま)
- 21日(木) 避難訓練(消火訓練)
- 22日(金) 誕生会
- 25日(月) 健康診断(にじ・やま・そら)
- 27日(水) わらべうた(そら・かぜ)
- 30日(土) ふゆまつり



こぐま保育園のふゆまつり

こぐま保育園の「ふゆまつり」は『保育園』という社会福祉施設の持つ役割を知らせていくこと、その機能を地域に還元していくことを目的としたおまつりです。

こぐま保育園の給食の味を多くの方に体験していただいたり、普段子どもたちが使っている食器食具などをみていただいたりしています。

それ以外にも遊びのコーナーや絵本コーナーなど子どもたちや地域の方々を楽しめるブースをいくつもご用意し、夕涼み会とはまた違った雰囲気で開催されるおまつりです。

また、このふゆまつりは『五者協(理事会・園・職員・父母の会・同窓会)』共催行事であるということも特徴です。この五者で実行委員会を作り、内容や運営について検討・実施していきます。

皆様のご協力、よろしく申し上げます。
一緒に楽しんでいきましょう!!

どんだんさんの卒園遠足

楽しんでいきます!!

11月5日にどんだんさんは卒園遠足に出かける予定です。本年度は、公共交通機関を使って出かける予定です。

この時期の子どもたちにとって、保育園の中で培ってきた関係性を土台に、社会的な関係性を広げながら、時間や場所、その状況に合わせた態度を取ろうとする経験も、とても大切な成長過程の一場面です。

そのための一つの経験として、こぐま保育園では小田急線とモノレールを使ってみんなで出かけます。

もちろん、毎年必ずということではなく、子どもたちの興味関心、これまでの経験の積み重ね、社会的な状況などを考慮して判断しているため、コロナ禍等はもちろん、その時々によってバスを使っていくこともありました。

こうしたこと以外にも、どんだんさんは午後のコースについては各おうち毎に行動したり、当日のおやつを自分たちで買いに出かけたり、そのためにお金についてみんなで触れて考え合ったり…。総合的な力として身に付けていけるよう、一つ一つの行事に取り組んでいます。

卒園まで半年を切り、こぐま保育での楽しい思い出を積み重ねていくとともに、次のステージへ向かっていく力の土台を作るための取り組みが、これから目白押しです。

子どもたちと職員が一緒になって楽しんでいきたいと思えます!!